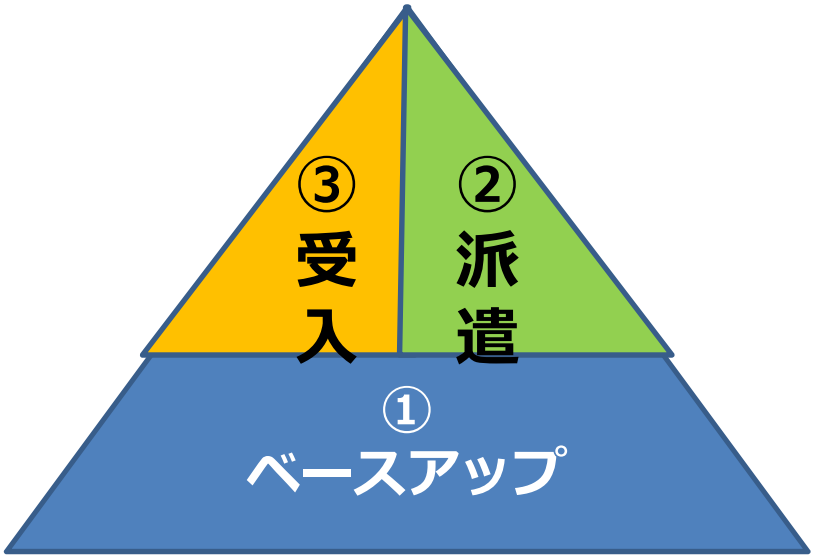
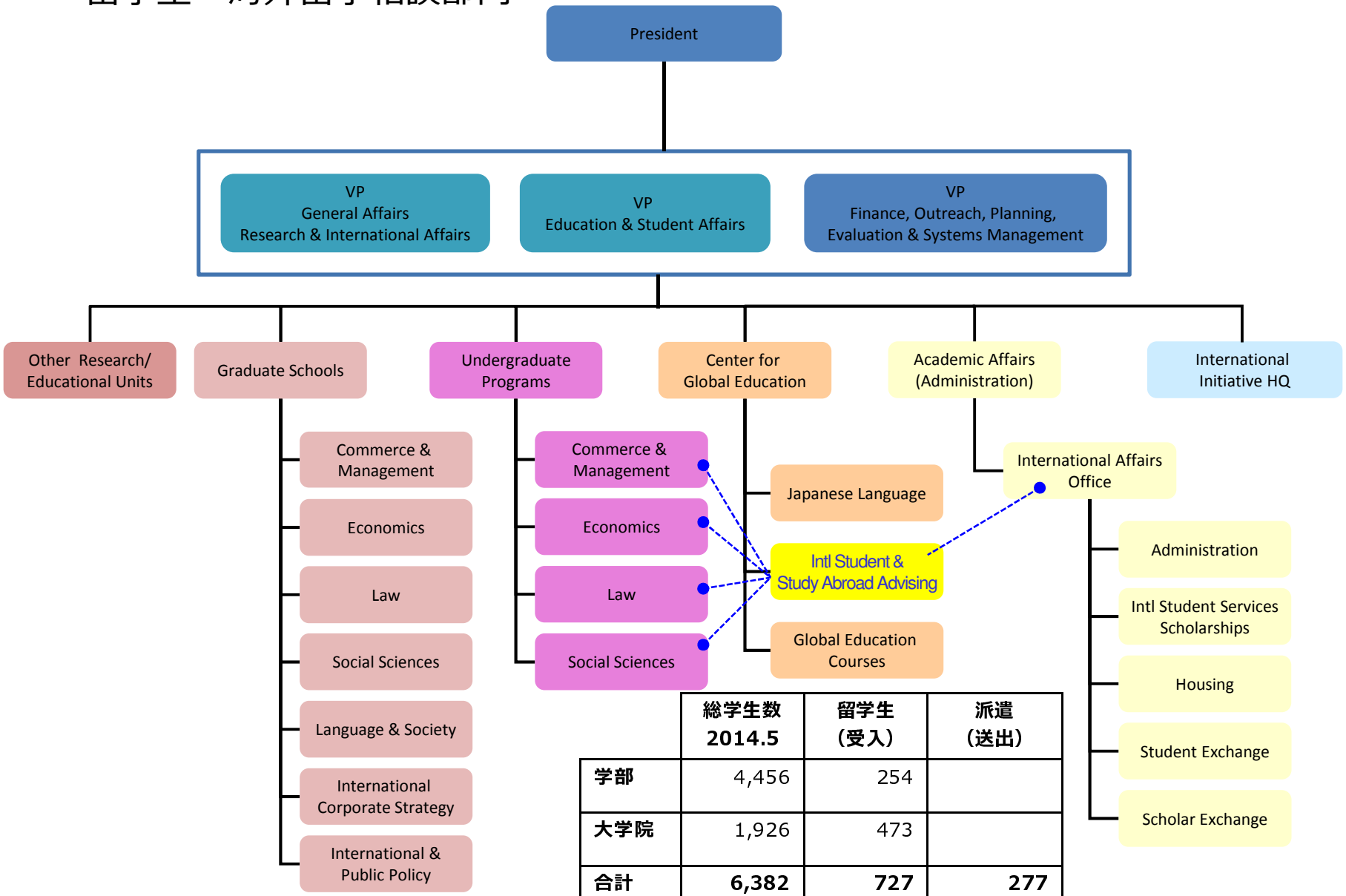
アウェー（海外）で活躍できる学生の育成：派遣留学者数増加に向けての展望と課題

留学生・海外留学相談の現場から



h1

HITOTSUBASHI UNIVERSITY
留学生・海外留学相談部門



	総学生数 2014.5	留学生（受入）	派遣（送出）
学部	4,456	254	
大学院	1,926	473	
合計	6,382	727 (11.4%)	277 (4.3%)

スライド 2

h1

旧組織図は、若干修正があります。

※国際課推進本部は学長直結の部署ではないので、変更

hit-u, 2013/02/26

国際化：展望と課題

留学生・海外留学相談の現場より

1. 「アウェーで実力を発揮できる自信」にこめられた現場の想い
2. ベースアップ：短期海外研修の特色化～プロジェクト・ベース学習へのシフト
3. 派遣：学生の英語圏偏重に伴うボトルネックの解消
4. 受入：交流学生 Recruitmentとしての小平国際学生宿舎 の更なる活用

「アウェー」とは何か

「攻撃のパターンを多く作れなかったんで、組立の部分は今後修正していかないといけないと思います。**日本で試合するといいサッカーができるけど、アウェーだとできないのは、それが日本の現状の力だから**。メンタル的にもっと自信を持ってやらないとダメですね」（MF 東慶悟）

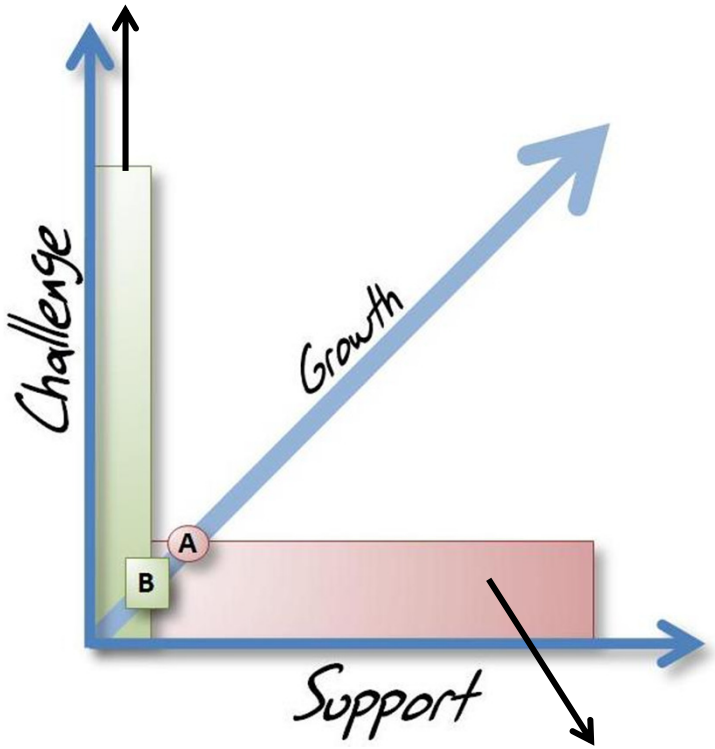
「アウェー」で実力を発揮できる自信を

「本来なら後ろから繋いで行くところですけど、繋いでリズムを作るにしてもピッチがデコボコでけっこうリスクがあったし、シリアも蹴ってきたんで、それに**付き合う感じになってしまった**」（FW 永井謙佑）

2012/2/6 U-23関塚ジャパンに再編の必要アリ!?　「日本らしさ」がシリア戦で完全崩壊
http://number.bunshun.jp/articles/-/193608

アウェーでの成長に必要な３要素

シビア＝単にストレス



楽勝＝単なる遊び

- 適切なチャレンジ
- 適切なサポート
- 本人のReadiness
  (チャレンジを受け入れられる器)

Sanford, N. (1966). *Self and society: Social change and individual development*. New York: Atherton

Q．「国境、文化を越える力をつける、アウェーでも自分の実力を発揮する」という観点から、研修中にもっとも自分に変化のあったことは何ですか？

- 無理に周りに合わせるよりもマイペースにやっていった方がリラックスして過ごせるため、案外自分の持つ力も発揮しやすいということに気づいた(2011年参加者)
- 「実力を発揮」をどのように定義するかは難しいが、オフィスでは自分の能力は自分で示すしかないということを学んだ (2011年参加者)
- 引っ込み思案になったり、滞在中は肉体的・精神的疲労が溜まることがあるかもしれないが、そこで自己解決を図ったり倦怠感から塞ぎこむのではなく、失敗や恥を覚悟して思い切って仲間・他人に相談をお願いすることが大切です。まさに自分がそうした傾向が強く、終わった後では悔いの残る要素となり、充実した達成感を阻害する要因にもなりました (2012年参加者)

１．ベースアップ：　短期海外研修の特色化

- 交換留学への布石として短期留学プログラムが発足し、一定の成果
- 新入生向けの海外短期プログラムの拡充により短期留学プログラム群が飽和気味
- 特色のあるプロジェクト・ベース（企業派遣等）や非英語圏研修への転換が求められている

海外留学「プログラムマップ」(抜粋)

主な対象者	プログラム名	等
3～4年生 大学院生	一橋大学海外派遣留学制度 （1 年間以内・90 名程度/年・単位互換可）	● GPA 2.7 以上 ● 派遣先により 件有
3～4年生	グローバルリーダー育成海外留学制度 （1 年間以内・4 名/年・単位互換可）	● 派遣先により 語学要件有
1～3 年生	海外語学留学制度(試行) （アメリカ、英国、オーストラリア等教育機関・夏休み・200 名）	● 単位認定は ● 休学者の参
1～4年生	海外語学研修@Stanford （アメリカ・夏休み 4 週間・15 名程度・2 単位） 海外語学研修@UC Davis （アメリカ・夏休み 4 週間・20 名程度・2 単位）	● 海外語学研修@Stanford 及び@UC Davis には TOEFL スコア(ITP 可 須
1～4年生※	海外語学研修@Aachen （ドイツ・アーヘン語学アカデミー・夏休み 4 週間・20 名程度・2 単位）	※海外語学研 、大学院生も参加可能
1～4年生	短期海外研修（スペイン企業派遣） （Berge 社・春休み 5 週間・6 名・学部 2 単位）	● TOEFL79(iB TOEIC730 IELTS 6.5 程度(スペイン)
1～4年生※	短期海外研修（オーストラリア） （モナシュ大学・春休み 4 週間・30 名程度・2 単位） 短期海外研修（中国） （北京大学・春休み 4 週間・15 名程度・2 単位） 短期海外研修（韓国） （西江大学・春休み 4 週間・6 名・2 単位）	※4年生・大学 能だが、単位は付与されない
1～4年生	経済学部　中国短期海外調査 （1 週間程度・10 名程度・2 単位）	● 関連基礎ゼ 修のこと ● グローバル・ 抜クラスの学生を優先する
1～4年生	経済学部　ドイツ・デンマーク短期海外調査 （1 週間程度・10 名程度・2 単位）	● 関連基礎ゼ 修のこと ● グローバル・ 抜クラスの学生を優先する
2～4年生	商学部　短期研修(豪:ビジネス・エマージョン・プログラム) （モナシュ大学・夏休み 4 週間・15 名程度・2 単位）	● TOEFL71(iB 程度を有すること ● TOEFL(ITP) 程度)も可能

長期

短期

全学&教務GSC

外国語

国際教育C

各研究科

チャレンジ

エントリーレベル

留学プログラムの発展

○全学プログラム

	プログラム名	条件等
3～4年生 大学院生	一橋大学海外派遣留学制度 （1 年間以内・約 90 名/年・単位互換可）	● 申請は前年度 6 月に受付締切 ● GPA 2.7 以上 ● 派遣先により異なる語学要件有

HIGH
チャレンジ

2013 長期

2008 短期

2005

2007

2010

2008

2009

エントリー
レベル

派遣留学（送り出し）学生数の推移D

	2004	2005	2006	2007	2008
派遣（長期）留学	29	23	32	27	32
短期海外研修　計		17	24	39	54
モナッシュ大学		17	24	34	29
北京大学				5	15
スペイン					10
海外語学研修　計					57
UC Davis					45
Stanford					12
合　　計	29	40	56	66	143

派遣留学（送り出し）学生数の推移 2

制度	派遣先	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
日本学生支援機構 留学生交流支援制度（長期派遣）	海外の大学	3	5	1	2	1
一橋大学基金による大学院生海外派遣奨学金	海外の大学・研究機関等	—	—	—	—	5
一橋大学海外派遣留学制度	学生交流協定校等	34	45	52	71	63
グローバルリーダー育成海外留学制度	世界トップクラスの大学	—	—	—	—	2
海外語学研修	スタンフォード大学（アメリカ合衆国）	18	17	16	14	15
	カリフォルニア大学ディビス校（アメリカ合衆国）	33	17	39	29	18
	バウハウス大学（ドイツ）	—	19	17	15	14
短期海外研修	モナシュ大学（オーストラリア）	24	18	25	26	20
	北京大学（中国）	12	6	8	7	6
	スペイン企業研修（スペイン）	6	6	6	6	6
	西江大学（韓国）	6	6	6	5	5
商学部・経済学部 グローバル・リーダーズ・プログラム	経済学部海外調査（ベトナム）	—	—	—	—	8
	経済学部海外調査（ドイツ・ブルガリア）	—	—	—	—	10
	商学部ビジネス・エマージョンプログラム（オーストラリア）	—	—	—	—	4
海外語学留学調査派遣事業	海外の大学付属語学学校等	—	—	—	—	100
組織的な若手研究者等 海外派遣プログラム	海外の大学・研究機関等	1	26	28	15	—
合　計		137	165	198	190	277

「アウェー」作りの試行錯誤

プログラム	短期留学プログラムにおける「アウェー作り」
スペイン（ベルヘ社）	韓国中央大学の学生４名と一橋大学生６名がスペイン企業にて英語によるビジネス研修やスペイン語レッスンを受け、同じアパートに住み、週末の共同プログラムを通じて**、スペイン語圏で英語、スペイン語日韓学生交流を深める**
オーストラリア（モナッシュ大学）	メルボルンという多文化共生の特色を生かし現地の家庭にホームステイしながら生活して、学習と生活の両面で日々異文化交流を推進する。**現地企業訪問など、特色のある試みは？**
韓国（西江大学）	西江大学での研修前に**1週間の本学独自プログラムを追加し、軍事境界線や独立記念館などの視察を通して歴史と平和について考える。**また、韓国で活躍する一橋大学卒業生との交流を通じて、将来のグローバルキャリア（外国で働くこと）について考える機会を提供する。
中国（北京大学）	北京大学が提供する語学プログラムに加え、**現地日本企業視察や企業人として活躍する大学OBによる講演会を開催**し、中国という地（アウェー）で働くことの意味に触れることで今後の進路や将来の展望について考えるきっかけを提供する。

一橋大学　短期海外研修の開発事例

２．派遣：学生の英語圏偏重に伴うボトルネックの解消

- 英語圏への交換留学需要が拡大
- 派遣数は受入数に制限されるため、英語圏への自主留学者が増加中
- 派遣留学に選抜されなかった学生に対するインフラ整備（相談体制）が必要

休学留学者の7割強が英語圏へ

		英語圏								
		USA	UK	カナダ	オセアニア	アジア（英）	アジア（非英）	ヨーロッパ	その他/不明	学部別計
H.24	商	1	3	1	0	1	2	0	0	8
	経	2	0	0	2	0	0	0	0	4
	法	6	1	0	0	0	0	0	0	7
	社	2	4	0	2	0	2	0	0	10
小計		11	8	1	4	1	4	0	0	29
H.25	商	2	0	0	0	0	1	0	2	5
	経	0	0	0	1	0	1	0	1	3
	法	0	2	0	0	0	0	0	2	4
	社	1	0	0	1	0	0	0	1	3
小計		3	2	0	2	0	2	0	6	15
2年間のべ件数		14	10	1	6	1	6	0	6	44

増加が見込まれる
自主留学希望者への支援

	派遣	自主
派遣留学 奨学金支給	○	×
学生身分	留学	休学（留学）
単位互換希望者の学費	一橋学費	二重払
渡航前オリ	○	×
留学相談	○	○

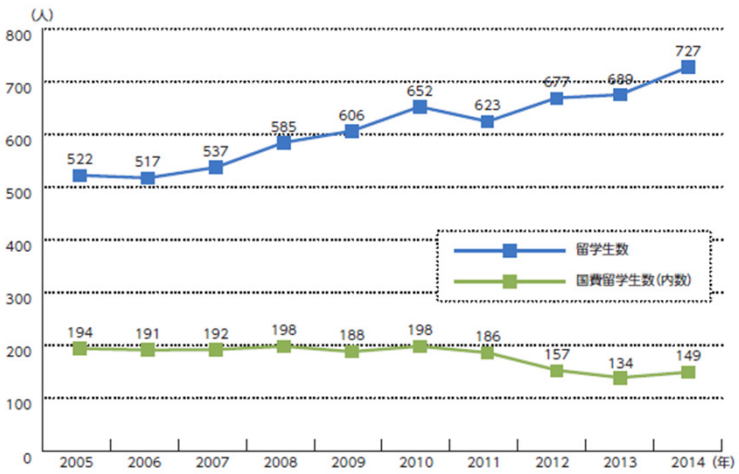
制度改革が必要な分野：

- 学費の二重払を緩和するための授業料免除制度により、休学ではなく留学身分での留学
- 自主留学希望者の渡航前オリエンテーション参画

3. 受入：交換留学生 Recruitmentとしての国際学生宿舎 の更なる活用

1. Affordable housing”, “Opportunities to interact with students worldwide”として、国際寮に住む交流学生が増加
2. 一般寮生枠を圧迫：優先度の学内調整要
3. 寮生サポート体制の強化

外国人留学生数の推移 (2005-2014)



交換留学生（受入）の推移と予測 (2013-2016)

	2013 秋	2014 秋	2015 秋見込	2016 予測
交流学生	50	68	85	90~95
日研生	10	10	10	10
合計	60	78	95	100~105

寮キャパシティへの影響

		小平地区 (学部生)		国立地区（院生）		景明館（院生）	
		日本人	留学生	日本人	留学生	日本人	留学生
３大学枠合計	209		209	0	0	0	0
一橋優先枠	251	184		56		11	
スタッフ	66	61		5			
国費	49		28		21		
神田キャンパス（英語）	23				23		
日本文化研修留学生	26		26				
交換留学生	69		69				
私費研究生	18				7		11
一橋一般枠	559	241	120	110	45	28	15
戦略的バッファー	40	31		2		7	
合計	1059						

2015年秋で枠を全て使い切り、
枠の拡大が必要

圧迫
？

一般寮生枠と優先枠の折り合いを年々調整する状況は今後も続く…

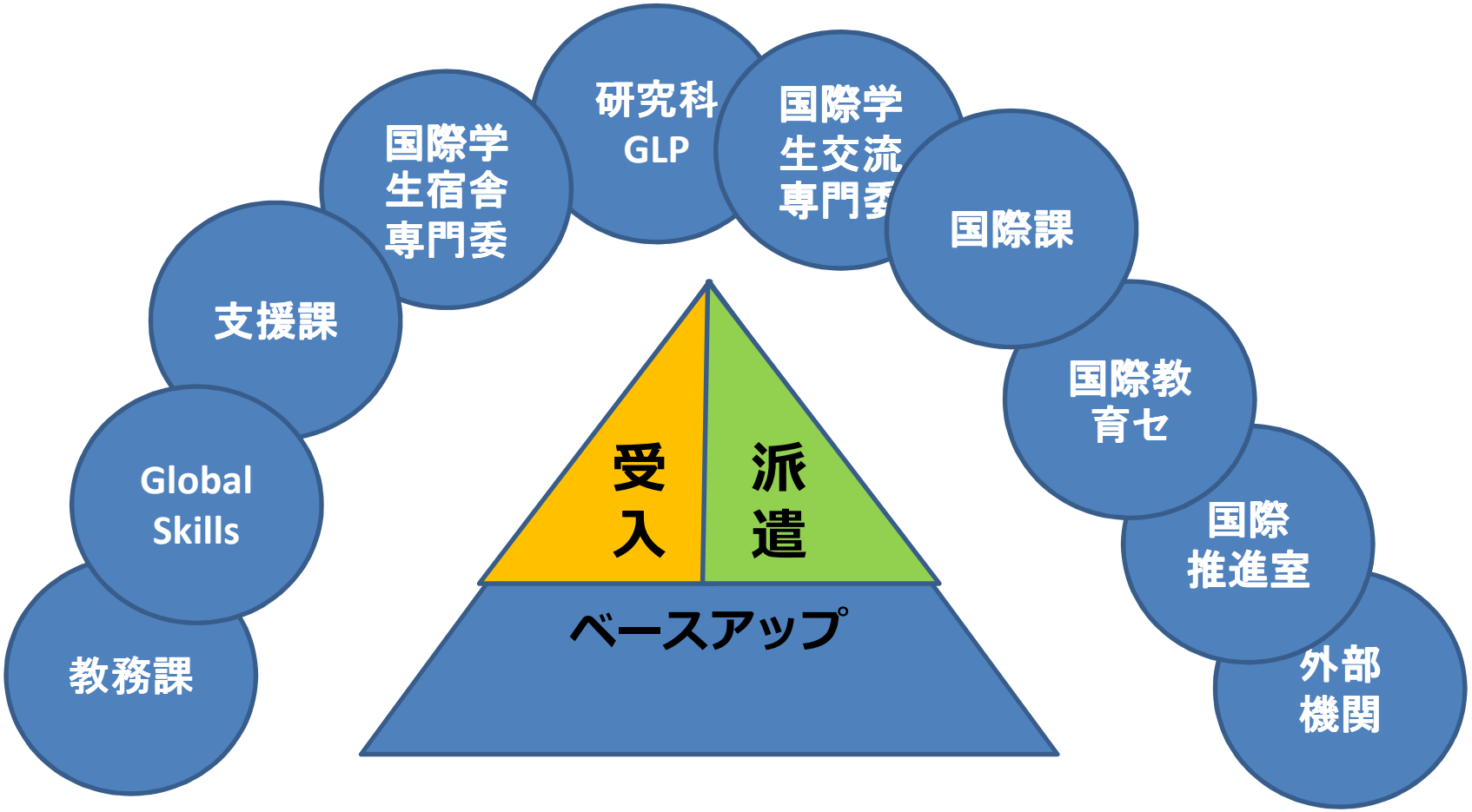
国際寮サポート体制の強化

交換留学生の増加に伴い留学生教員をより国際学生宿舎運営に参画させる仕組が必要

狙い

①留学生（特に欧米からの交換留学生）に対するアドバイジングの円滑化

②日留学生交流スペシャリストである留学生教育教員を寮アドバイザーとして配置し、寮生交流の相乗効果

連動する課題・部門間連携による対応

部門・外部との連携で総合的な解決策を